

※ 下氷鉤小学校運営の方針・・・全教育活動を通して、児童一人ひとりの個性・能力を伸ばすとともに、敬愛の心を培い、人間性豊かな児童の育成に努める

心に響いた音楽会～伝えよう心と音のハーモニー～

10月25日(金)の音楽会には、ご来校をいただきありがとうございました。「伝えよう心と音のハーモニー」を目当てに聞いている人の心に響く音楽会にしようと子どもたちは頑張ってきました。毎日、練習を重ねる毎に歌声や合奏がまとまって参りました。その練習の成果が見事に本番に発揮されたように思います。子どもたちの指揮に集中している真剣な顔には、たった1回の機会、その1回に力を出しきろうという意気込みが感じられました。

また、本校の大きな特色となっているオペレッタでは、舞台づくり、キャスト等々、それぞれの持ち場や役割をよく練習し、会場の全児童が一つになって『手ぶくろを買いに』を仕上げ本番に臨みました。子どもたちはリハーサル通り自信をもって発表できたように思いますがいかがでしたでしょうか。

保護者の皆様の温かな拍手や励まし、ありがとうございました。大勢の方々に支えられて、下氷鉤小学校の音楽会がよいものになったのだと思います。



職員と保護者が一緒になって行うPTAコーラスにも昨年同様たくさん参加をいただきありがとうございました。大人の合唱のよさ、響きを子どもたちに伝えられたのではないかと思います。

音楽会で身につけた仲間と協力するよさ楽しさを日常生活に生かしていきたいと思ひます。

秋の収穫、大豊作!

田んぼの稲刈りや畑の収穫も終わりに近づき、サツマイモを掘るクラス、調理するクラスがたくさんありました。自分たちで育てて穫り入れ、そして食べる。楽しくもあり、食を考える上でも大切な体験的活動です。サツマイモも各クラスでいろいろな料理に挑戦し、調理室が毎日賑わいました。

子どもたちは、目を輝かせ調理に取り組み収穫を味わっていたようです。調理の準備品などご家庭でのご協力、ありがとうございました。

PTA 防犯教室及びピカリンパトロール隊団結式

10月29日（水）には、PTA防犯教室およびピカリンパトロール隊結団式を行いました。



警察の方3名からは、更北地区の現状や対策をお聞きし、護身術も教わりました。参加者は約40名で、終了後、1年生の下校に合わせて一緒に帰りました。

「更北地区に不審者に関わる事案が少ないのは、防犯活動が活発だといえるからである。」「不審者はすきを見て犯罪を行っているので見守り活動というのはとても効果のある活動である」というお話をお聞きしました。改めて地域、保護者、学校が協力しての取り組んでいく事の大切さを実感しました。

楽しく交流できた下小フェスティバル

10月30日（木）には下小フェスティバルがありました。今年も児童会の皆さんの素晴らしい企画運営で行いました。子どもたちのアイデアや工夫、発想の豊かさ見事さに驚かされました。どこの委員会も、お金をかけず、身近な材料や道具を有効に使い日頃の委員会のチームワークの良さを発揮していました。

高学年と低学年がペアでアトラクションをめぐり、仲良く交流し楽しんでいました。最後に集合したときには、6年生のお兄さんお姉さんに親しく寄り添い抱っこしてもらっている1年生も見られ微笑ましく思いました。少子化の現代では兄弟姉妹の数も減ってきており、異学年の交流はとても大切になってきています。本校の大事にしている活動の一つである「下小フェスティバル」は、子どもたちにとって、満足のゆくものになったように思います。

スペシャルオリンピックスについて勉強しました。

なかよし旬間（11月4日～17日）の一環で取り組む「お話しを聞く会」（4年～6年参加）では、



スペシャルオリンピックス日本・長野ボランティア委員長の宮澤忠雄さんからお話をお聞きしました。障害のある方々と共に歩むことの大切さを中心に、「自分の中にある偏見に気づいてほしい」「人間の持っている本質的なやさしさ純粋さを感じ学んでほしい」と話されました。また本人にとって生活上不都合なことを障害ととらえ、それは個性の一つであるとも話され「その不都合な部分について認めることができず、傷つけるようなことは、絶対あってはなりません。」と熱く語っていただきました。子どもたちはその話しを受け自分なりに一生懸命考えていたように思います。

やさしい言葉がけ、思いやりの行動が広がっていく事を願っています。

充実したPTA講演会

教養委員会を中心にご尽力いただき、上田情報ビジネス専門学校の比田井和孝先生のお話をお聞きしました。約200名ほどの大勢の保護者の皆様に参加いただきました。ありがとうございました。

「やり方」より「あり方」。自分が幸せと感じている人は「周りの人を喜ばせることに喜びを感じられる人」「できたときにほめる以上に、できないときにだきしめてあげることが大事」等々考えさせられる言葉やエピソードをたくさん残してくださいました。図書館にも「私が一番受けたいココロの授業（比田井和孝、比田井美恵 著）」を入れてあります。

